



●八千代の人口 19万6,566人(+422人) 男 9万7,384人(+190人) 女 9万9,182人(+232人) ●八千代の世帯 8万6,280世帯(+396世帯) 4月末現在。() 内は前月比

安心して子育てができる八千代市に

服部友則市長が初登庁



▲雨の中、多くの支援者に拍手で迎えられました

5月21日に行われた八千代市長選挙の結果、服部友則氏が2万2,422票を獲得し、八千代市長に当選しました。

5月26日午前9時30分、服部友則新八千代市長が、市役所玄関前に集まった市民や市職員に拍手で迎えられ、初登庁しました。支援者からは「市民のために尽くしてほしい」との声があがりました。続いて行われた就任式では、市の管理職約130人の前に「公約実現のためには皆さん一人一人の力が必要。私と共通の問題意識を持って、チーム八千代として一緒に汗をかいていきたい」と今後の市政運営に向けて、意気込みを語りました。

今号の紙面から

- ◆誰もがくらしやすいまちやちよ… 2
- ◆まちづくりふれあい講座…………… 3
- ◆やちよ元気体操…………… 4・5
- ◆市民水泳大会の参加者…………… 5
- ◆三世代交流フェスティバル
子どもの元気がみえるまち…… 8

市長就任のあいさつ

緑豊かな環境で、安心して子育てができる八千代市に

八千代市長 服部友則

このたび、市民の皆様からの信頼を受け、市政の舵取りをさせていただくことになり、その重責に身を引き締まる思いであります。私は、「緑豊かな環境で、安心して子育てができる八千代市に」を基本とし、乳幼児から高齢者まで安心して暮らせる八千代市の実現を目指し、子どもが第一の市政を大きな柱に据え、東葉高速鉄道の運賃の値下げ、子育て支援施策、高齢者福祉施策、駅周辺の高度利用、水と緑と太陽がある街の5つの施策に基づき市政運営を行っていきたくと考えております。

東葉高速鉄道は、都心へのアクセスの利便さから、本市の発展に欠かせない宝です。しかしながら、運賃の高さがネックとなり、市外からの人口流入や集客に大きく影響しています。短期間で実現できる問題ではありませんが、東葉高速鉄道と東京メトロの経営統合などにより、最終的に運賃の値下げにつなげてまいります。子育て支援施策として、働きながら子育てできる環境づくりを目指して、保育所施設整備、保育士拡充対策、幼稚園の預かり保育の推進、小学校での放課後子ども教室の拡充などにより、保育園・学童保育所の待機児童の解消を図ってまいります。特に預かり保育の推進については、施設や人材など、現在存在している資源を有効に活用することで、3・4・5歳児の解消を目指してまいります。高齢者福祉施策として、UR3団地へのエレベータ設置、介護専用駐車場の設置について、UR都市機構と協議してまいります。また、免許返納者に対する交通機関の優遇制度の創設や、交通弱者対策として、コンパクトカーによる公共施設及び商業施設循環の交通手段の整備を行っていきたくと考えております。そのほか、駅周辺の高度利用として、京成線の高架化と駅周辺の再開発に取り組むとともに、水と緑と太陽がある街を目指して、「かわまちづくり計画」の推進に合わせ、県へ水質浄化施策を図るよう協議しつつ、新川が安らぎと潤いの場所となるよう整備してまいります。市民の皆様への安全・安心を第一に考え、尽力してまいります。4年間、どうぞよろしくお願いたします。

「タイラー市&八千代市姉妹都市交流25周年記念写真展」を開催

国際姉妹都市提携25周年を迎えたアメリカ・テキサス州タイラー市との25年に渡る交流などの写真を展示します。

▼日時 6月23日(金)午後1時～6時、24日(土)午前10時～午後6時、25日(日)午前10時～午後4時 ▼場所 イオンモール八千代緑が丘店2階ロビー広場 ▼問い合わせ 八千代市国際交流協会 電話(752)0593、または総合企画課 (総員正企画課)